



2025 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 スルガ銀行株式会社
代表者名 取締役社長 加藤 広亮
(コード番号 8358 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員
総合企画本部長 佐藤 富士夫
(TEL 03-3279-5536)

勘定系システムのクラウド化に伴う費用の計上及び 保有有価証券の売却等に伴う損失の計上に関するお知らせ

当社は、勘定系システムのクラウド化に伴う費用及び保有有価証券の売却等に伴う損失を、2025 年 3 月期第 4 四半期に計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせします。

なお、2024 年 11 月 12 日に公表しました 2025 年 3 月期通期の連結及び個別業績予想の変更は現時点で見込んでおりません。

記

1. 勘定系システムのクラウド化に伴う費用の計上

当社は、2026 年 5 月に勘定系システムのクラウド化を予定しております。このクラウド化プロジェクト開始に伴い、現行システムの精査を進めた結果、今後使用が見込まれなくなる部分について、2025 年 3 月期第 4 四半期に費用処理する見込みとなりました(費用概算 約 13 億円、物件費に計上)。

2. 保有有価証券の売却等に伴う損失

当社では、最近の金融市場の動向を踏まえ、有価証券ポートフォリオの更なる品質向上を図るため、評価損を抱えるマルチアセットファンドの一部圧縮等を実施することとしました。これらの取り組みにより、2025 年 3 月期第 4 四半期の有価証券関係損益において約 30 億円の損失計上を見込んでおります。

なお、今後の有価証券運用方針について変更はなく、より安定的な収益構造の構築を目指し、市場環境を鑑みつつ、円債を中心としたポートフォリオを漸進的に構築していく方針です。

2025 年 3 月期 有価証券関係損益見込み(個別)

単位: 百万円

	第3四半期実績	通期見込み	増減額
有価証券関係損益※	85	△3,085	△3,000

※国債等債券損益及び株式等損益の合計

3. 業績に与える影響

2025 年 3 月期第 3 四半期決算を本日公表しておりますが、当社の当期業績は順調に推移しております。上記のとおり、勘定系システムのクラウド化への移行に向けた費用及び保有有価証券の売却等に伴う損失を今後計上する見込みではありますが、2024 年 11 月 12 日に公表しました 2025 年 3 月期通期の連結及び個別業績予想の変更は現時点で見込んでおりません。

今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上